

日本動物看護学会 第51回例会

第6回動物看護研究勉強会 開催報告

【第1部：12:30~14:10】

講義：『研究デザインとプロセス』

日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学臨床部門 小田民美先生により表題の内容をご講演いただいた。研究・看護の定義、ナイチンゲールの看護研究の紹介にはじまり、講師所属先で実施された研究の実例の、テーマの絞り込み段階からの過程を追っての紹介があり、研究プロセスを理解するのに有用であった。

また、半分以上の時間が4~5人のグループでのグループワークに充てられた。配布の「研究テーマ絞り込み用紙」を用いて、各グループとも日頃の疑問点の中から一つのテーマをピックアップし、講師からアドバイスをもらいながらそのテーマを研究デザインにまで導くことができた。

参加者の感想

- 研究プロセスを具体的に分かりやすく説明して下さって、そのままグループワークで実践し、その場で具体化できたのでいい勉強になりました。
- 講義で使った「研究テーマ絞り込み用紙」を活用すれば研究が進みやすそうと感じた。
- 小田先生は、答えへの導き方や、聞く側に考えさせる方法がお上手な先生でした。
- チームで考える方法も、他の動物看護師の考えを聞いて良かったです。

【第2部：14:20~15:50】

講義：『論文を探そう！』

大阪府立大学 生命環境科学域 獣医臨床センター 島村俊介先生にご講演いただいた。

論文検索の話を中心に、学術論文に求められるものや規定・査読についての説明や、論文の書き手側が知っておくべき事と読み手側が知っておくべき事の説明など、広く論文全般についてカバーしていただいた。

エビデンスの説明では、「エビデンスは客観的なものである」ものの、「重さにレベルがある」ことや「完全ではない故に常に検証される必要がある」ことから、「しっかりとしたエビデンスを作ってその分野の発展に貢献する」という研究の意義を再確認することができたと同時に論文に挑戦したいという思いを抱くことができた。

参加者の感想

- 今まで論文に触れたことがなく、講義の初めに「本来なら2年くらいかけて習得するもの」と聞いて不安に思ったが、多岐にわたる詳しい説明をいただき、論文の全体像を知ることができました。
- 論文は奥が深くて面白いと思いました。

【第3部：16:00~17:00】

報告相談会

参加者から自己紹介と、自身の研究にまつわることを一言ずつ頂戴し、その後個別の悩みに対する相談会が行われた。

主に事例報告に関する話題となり、事例報告の題材選びやまとめ方、アンケート調査の質の話などで両講師から具体的なアドバイスがなされた。

また、情報は増えているものの論文数が追い付いていない小動物分野では「完璧を求め過ぎずチャレンジを」「学会発表で受けた指摘の検討を重ねて論文に」と講師から励ましをいただき、大変勇気づけられた。

参加者の感想

- 研究に行き詰っていたが、参加することでモチベーションも上がり、いい機会になりました。
- 具体的に研究を進めている方もいて、刺激を受けました。
- 経験豊富な講師陣からアドバイスをいただき、貴重な機会となりました。

【結び】

勤務歴1年目の方から15年目の方まで、参加者の動物看護師歴は様々であったが、皆研究に興味を持ち、目指していることが同じため、一体感のある濃い時間が過ごせたように感じた。休憩をはさみながら約4時間の時間を確保していたが、時間が足りず、聞きたいことや相談したいことが消化しきれなかった感もある。今後は講義と報告相談会の時間配分を再検討し、予定通り年度内にあと2回開催し学びや研究を深めたいと思う。



第1部



第2部



第3部